



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：外国銀行の支店設立容認に向けた動き (5月6-9日付現地紙)

1. 7日付け「ケイハーン・インターナショナル」紙他
 - (1) イランの Money and Credit Council (注：重要な金融政策を決定する権限を持つ委員会。議長は中央銀行総裁、委員は関係省庁の高官) は、外国銀行のイランでの支店開設とイランの銀行の株式購入を認める方針を採択した。
 - (2) これによれば、イラン及び外国の共同投資による銀行の開設、イラン国内での支店設立のための外国の投資家や銀行によるイランの銀行の株式保有が認められることになる (外国人投資家によるイラン銀行株購入の上限については触れられていない)。イランでの外国銀行の開設は、現在、キシユ島などのフリートレード・ゾーン (FTZ) 内に限られており、それ以外のイラン国内に支店は開設できない。
 - (3) 本方針の法制化には、今後、閣議での決定を経て国会での審議が必要となる。

2. 9日付「イラン・デイリー」紙
 - (1) Money and Credit Council メンバーの Moqaddam 氏は 8 日、「国内銀行は株式の 40% を外国銀行に移転可能となる。各個人或いは法人による株式購入は 10% が上限となる。政府は、外国銀行の支店設立、及び外国人へのイラン銀行株式移転に関する法案を内閣へ提出する。国会が本件をアジェンダに載せることは確実だが、その国会への提出時期は、今後決定される」と語った。
 - (2) 現在テヘランに駐在員事務所を開設している 44 を越す外国銀行が、本法案の成立後に支店開設許可の申請者になるものと予想されている。